機関が連携し、事業者支援

の技術や文化、次世代に

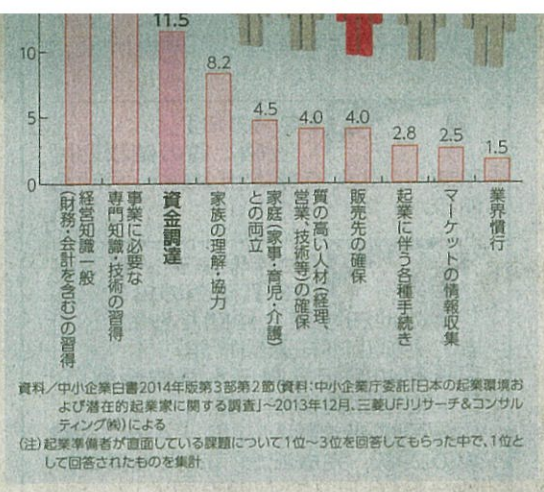
予定者とマッチングも

融資の保証を通じて中小・零細企業をサポートする県信用保証協会の真崎伸一会長に、創業支援を中心とする、同協会の最近の取り組みについて聞きました。

求められる慎重な資金計画

充実してきた公的サポート

ってから実るまでには が必要で の調達は の一つ。事前の準備いかんによって創業後の経営が左右されるともいわれます。中小企業白書のデータでも、起業準備者が直面している課題として、資金調達が上位に挙がっています（上図）。



資料／中小企業白書2014年版第3部第2節（資料：中小企業庁委託「日本の起業環境および潜在的起業家に関する調査」～2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱）による
（注）起業準備者が直面している課題について1位～3位を回答してもらった中で、1位として回答されたものを集計

熊本商工会議所によると、近年は、自己資金をほとんど持たず、創業資金全てを融資に頼るケースも珍しくないといいます。「その結果、追加資金が必要になると早々に行き詰まり、廃業に追い込まれることもあります。そうした危機を回避するためにも、創業前の自己資金確保が重要です」と同会議所。

県信用保証協会では創業支援の一環として、創業前から、金融機関や経営支援機関が一堂に会する個別会議を開催して支援策を協議、開業直後は経営の各専門家を派遣し、その後も3年間、支援を継続するなどの仕組みを整えています。「昨年6月に改正された信用保証協会法に基づき、今年4月から、創業関連保証の限度額を従来の2倍の2000万円に増額、小規模事業者に対する支援も充実させました」と同協会。

熊本商工会議所は「資金繰りを含め、創業の準備に関して分からないことがあれば、各地域の商工会議所や商工会などの中小企業支援機関、金融機関や税理士などに相談してみるとよいでしょう」とアドバイスしています。

定を結び、金融機関や関係機関と連携した取り組みを始めています。

このほか創業予定者に～10年の長い期間が 渡しによる事業承継を推 事業承継をマッチングさ

支援事例 狩猟肉料理店「山ねこ軒」（熊本市中央区神水）

熊本市中央区神水に今年1月開業した狩猟肉料理店「山ねこ軒」。イノシシ、シカなどの野生鳥獣肉、魚介類や野菜を使った季節の料理と共にポルトガルワインを提供しています。

村上正樹代表（35）は、県内のホテルや飲食店で料理の腕を磨き、3年前に創業を決意。地元の金融機関から、経済産業省・中小企業庁が全国に設置する経営相談所「熊本県よろず支援拠点」を紹介され、創業前から、中小企業診断士の指導を受けてきたそうです。

開業に際しては、県信用保証協会の保証付き融資などで約700万円の資金を調達。また、従業員を雇用するにあたり、不安を抱えていた雇用保険の申請などは、協会の専門家派遣制度による社会保険労務士の支援を受け、解決させました。

村上代表は「店を経営する中で、各専門家による支援を心強く感じました。特徴を生かしながら、愛される店を目指したい」と抱負を語ります。

各専門家から心強いサポート

厨房に立つ村上正樹代表